

令和6年度 年間授業計画

都立小山台高等学校・定時制課程

1	教科・科目	数学・数学A
2	対象学年	4 年
3	教科担当者	久保田
4	使用教科書	新数学A・東京書籍

2 単位

使用教材

5 年間授業計画

学期	月	単 元 (指導内容)	具体的な指導目標	予 定 時数
1学期	4月	場合の数	集合についての基本的な考え方を学び、その後確率の考え方のベースになる順列組合せについて理解を深める。	1 2
	5月	集合、順列 (円順列・重複 順列) 組合せ 中間考査		
1学期	6月	確率	和の法則、積の法則、順列・組合せの考え方を基本に確率の意味を理解させる。 確率の基礎基本を学習したのち独立な試行の確率・反復試行の確率・条件つき確率を理解する。	1 2
	7月	基本的な確率の計算 独立な試行の確率 反復試行の確率 期末考査		
2学期	9月	三角形の性質	平行線と角・三角形の相似、中点連結定理など中学数学の復習をしながら高校数学の図形の基本的な事柄を学習する。重心・外心・内心の特徴を理解できるようにする。	1 4
	10月	三角形と角・比 三角形の重心・外心・内心 中間考査		
2学期	11月	円の性質	円周角の定理、円周角と中心角の関係を学習する。円に内接する四角形の性質を理解しその条件についても理解を深める。接弦定理・方べきの定理について理解し様々な問題が解法できるように理解力を高める。	1 4
	12月	円に内接する四角形 接弦定理 方べきの定理 期末考査		
3学期	1月	作図	垂直二等分線、垂線、角の二等分線、平行線、線分をいろいろ内に分ける点等の作図を学習することで図形への理解を深める。	1 8
	2月	基本の作図		
	3月	学年末考査		

6 学習者への注意

出席を常とし、日々の授業を大切にし、ノート等の提出物は必ず提出する。

7 評価の観点、方法

定期試験の得点を基本とし、授業態度・出席状況・授業に対する姿勢・提出物などを加味し評価する。